

平成 2 2 年度一般会計当初予算説明資料

2 款 総務費

2 項 企画費

交流推進課（内線：7595）

1 目 企画総務費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
多文化共生社会支援事業	776	1,434	△ 658				776	
トータルコスト	2, 390 千円（前年度：2, 263 千円）[正職員：0. 2人]							
主な業務内容	関係機関の連絡調整会議の共同開催、補助金の審査・交付・検査、各補助事業への助言等							
工程表の政策目標(指標)	国際交流財団と協力し、基礎的サポートを整備							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要								
<p>県内に在住する外国人の増加に対応し、在住外国人も地域社会の構成員として共に生きていく多文化共生社会を実現するために、財団法人鳥取県国際交流財団が実施する各種事業に対して助成を行う。</p>								
2 主な事業内容								
(1) 事業費								
補助金 776 千円（全体事業費 1, 552 千円、補助率 1 / 2）								
(2) 事業内容								
ア 医療通訳ボランティア派遣事業								
医療通訳ボランティアを登録し、依頼に応じて派遣する。								
イ 医療通訳ボランティアに対するフォローアップ講座開催								
平成 19 年度から実施している医療通訳ボランティア養成講座により養成された約 50 名の医療通訳ボランティアに対し、言語及び医療の専門知識、対人援助能力などの更なる資質向上を目指したフォローアップ講座を実施する。								
ウ 異文化理解を促進する「国際交流フェスティバル」の支援								
県内 3 地区で開催されている民間団体主催の国際交流フェスティバルについて、異文化理解を促進する観点から支援する。								
エ 民間国際交流団体等への出前講座の実施								
民間団体などが実施する会議等に講師を派遣し、多文化共生の意識啓発を図るための講座を開催する。								

平成22年度一般会計当初予算説明資料

2 款 総務費

2 項 企画費

交流推進課（内線：7595）

1 目 企画総務費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
鳥取県国際交流財団助成事業	45,721	47,305	△ 1,584				45,721	
トータルコスト	48,948千円（前年度：51,448千円）〔正職員：0.4人〕							
主な業務内容	補助金の審査・交付・検査、各補助事業への助言等							
工程表の政策目標(指標)	国際交流財団を通じた助成、ホームステイなどボランティアの育成活用							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要								
<p>地域の国際化を推進するため、財団法人鳥取県国際交流財団が実施する各種事業に対して助成を行う。</p>								
2 主な事業内容								
(1) 事業費								
補助金 45,721千円								
(2) 事業内容								
ア 管理運営事業（37,765千円）								
<p>地域国際化の拠点としての財団事務所を運営するために必要な人件費、光熱水費等の管理運営費、在住外国人の相談業務等を行う国際交流コーディネーターの設置に要する経費</p>								
イ 情報収集提供事業（1,558千円）								
<p>機関誌の発行、財団及び民間団体が実施する事業などの情報提供（年4回 各1,800部発行）、ホームページ運営、メルマガ配信に要する経費</p>								
ウ 交流活動支援事業（160千円）								
<p>ホームステイ受入講座の開催や受入家族のボランティア活動保険加入等により、ホームステイの活性化を促進</p>								
エ 国際化推進事業（630千円）								
<p>子どものための異文化理解講座等を開催し、在住外国人と地域住民との相互交流を促進</p>								
オ 海外移住、協力事業（1,732千円）								
<p>海外県人会への助成、青年海外協力隊の活動PRを目的とした帰国報告会の開催等を支援</p>								
カ 在住外国人支援事業（3,876千円）								
<p>在住外国人向けの日本語クラスの実施、日本語講師・ボランティア養成講座の実施、私費留学生に対する奨学金支給に要する経費</p>								

平成22年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

交流推進課（内線：7123）

1目 企画総務費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
「話してみよう韓国語」 鳥取大会開催事業	1,431	1,480	△49				1,431	
トータルコスト	2,238千円（前年度：2,309千円）[正職員：0.1人]							
主な業務内容	韓国文化院との調整、広報、大会準備及び運営等							
工程表の政策目標(指標)	民間等と連携した戦略的事業の実施等							
事業内容の説明								
<p>1 事業の目的・概要</p> <p>国際理解の推進に高い効果がある外国語学習を支援するため、本県との交流が活発な韓国に関心のある韓国語学習者に参加を広く呼びかけ、スキット（寸劇）形式による韓国語発表コンテストを韓国文化院と共催で開催する。</p> <p>2 主な事業内容</p> <p>(1) 事業費 1,431千円</p> <p>(2) 事業内容</p> <p>「話してみよう韓国語」鳥取大会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催時期 平成22年12月頃 ・開催場所 県内 ・実施方法 外部委託 								

平成22年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費

6項 社会教育費

図書館（電話：0857-26-8155）

3目 図書館費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
環日本海図書館交流事業	12,553	12,157	396			諸収入 36	12,517	
トータルコスト	18,201千円（前年度：17,128千円）[正職員：0.7人、非常勤職員：2.0人]							
主な業務内容	環日本海交流関係各事業の実施、環日本海交流室カウンターにおける利用者対応等							
工程表の政策目標（指標）	県が進める環日本海交流への文化面からの支援							
事業内容の説明								
<p>1 事業の目的・概要 環日本海諸国（韓国・中国・ロシア）の原書やその地域について記述された日本語図書の収集・提供を行なうとともに、「図書交換等に関する協定」を具体化するための様々な事業を行い、鳥取県（県民）と環日本海諸国との交流を促進する。 また、多文化サービスの提供・充実に努める。</p> <p>2 主な事業内容</p> <p>(1) 環日本海諸国との図書交換 韓国、中国、ロシアの3図書館とそれぞれ年60冊程度交換</p> <p>(2) 環日本海交流室の資料整備 図書500冊、雑誌30種、新聞9種購入、資料調査、研修等</p> <p>(3) 環日本海交流室担当職員の配置 担当職員2名配置</p> <p>(4) 環日本海交流室連続講座等の開催 連続講座を県内2箇所各3回</p> <p>(5) 環日本海交流実施校への語学・歴史・文化等学習支援 翻訳絵本の読み聞かせ等</p>								

平成22年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費

6項 社会教育費

文化財課（内線：7932）

2目 文化財保護費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他 (諸収入)	一般財源	
青谷上寺地遺跡出土品調査研究等事業	32,629	43,695	△11,066	7,252		102	25,275	
トータルコスト	57,640千円（前年度69,379千円）〔正職員：3.1人、非常勤職員：11.0人〕							
主な業務内容	調査研究計画立案、関係者との協議調整、データベース作成、報告書作成、海外との調査研究交流、レプリカ作成、講座・ミニフォーラムの開催、脳・人骨の研究							
工程表の政策目標	—							
事業内容の説明								
1 事業の概要								
青谷上寺地遺跡の出土品が持つ豊富な情報を県民に情報発信するため、出土品の調査研究と海外調査などを行い、出土品の活用を図る。								
2 事業の内容								
区分	予算額	事業内容						
出土品の調査研究	25,384	○木器、骨角器、金属器、土器、石器の調査研究（データベース作成） ○金属器研究報告書作成 ○骨角器に関する普及啓発パンフレット作成						
海外との調査研究交流	1,052	○海外（主に韓国）の出土遺物・遺跡立地環境等との比較研究						
出土品のレプリカ作成	3,728	○保存処理後でも展示に耐えられない骨角器のレプリカ作成						
青谷上寺地遺跡弥生講座 関連事業	1,407	○青谷上寺地遺跡の発掘調査や出土品の調査成果を地元の方々を主対象に情報発信 ・土曜講座（偶数月第2土曜日に計5回開催） ・ミニフォーラム （調査研究成果について、よりグローバルな視点で専門的に情報発信する。外部講師と職員による対話や討議を通じて、来場者により分かりやすく情報を伝えるため、フォーラム形式で行う。）						
脳、人骨等の研究	1,058	○弥生人の脳を氷温庫で保管。						
計	32,629							

平成22年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費

6項 社会教育費

博物館 (0857-26-8042)

4目 博物館費

(単位：千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考								
				国庫支出金	起債	その他	一般財源									
博物館交流事業	1,176	951	225				1,176									
トータルコスト	2,790千円 (前年度：2,608千円) [正職員：0.2人]															
主な業務内容	訪問、受入、資料交換、連絡調整															
工程表の政策目標 (指標)	来館者サービスの向上															
事業内容の説明																
1 事業の概要																
中国、韓国、ロシアの博物館(河北省博物館、国立春川博物館、アルセーニエフ名称沿海地方国立博物館)との交流や情報交換等を行う。																
2 事業の内容																
県の国際交流計画にあわせ、中国河北省博物館、韓国江原道国立春川博物館と情報交換を中心に交流を継続する。ロシアアルセーニエフ名称沿海地方国立博物館と新たに交流を進める。																
<table border="1"> <thead> <tr> <th>交流館</th> <th>内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中国河北省博物館</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・河北省博物館で「鳥取県の文化財」を紹介するパネル展を開催予定 ・図録類の交換・情報交換等を行う [平成10年6月 友好交流館として協定締結] </td> </tr> <tr> <td>韓国江原道国立春川博物館</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・今後の交流計画協議のため、4名を受入 ・図録類の交換等を予定 </td> </tr> <tr> <td>ロシアアルセーニエフ名称沿海地方国立博物館</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・DBSフェリーの就航を機に交流団を受け入れた ・職員4名の訪露により、今後の交流計画を協議 </td> </tr> </tbody> </table>									交流館	内 容	中国河北省博物館	<ul style="list-style-type: none"> ・河北省博物館で「鳥取県の文化財」を紹介するパネル展を開催予定 ・図録類の交換・情報交換等を行う [平成10年6月 友好交流館として協定締結]	韓国江原道国立春川博物館	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の交流計画協議のため、4名を受入 ・図録類の交換等を予定 	ロシアアルセーニエフ名称沿海地方国立博物館	<ul style="list-style-type: none"> ・DBSフェリーの就航を機に交流団を受け入れた ・職員4名の訪露により、今後の交流計画を協議
交流館	内 容															
中国河北省博物館	<ul style="list-style-type: none"> ・河北省博物館で「鳥取県の文化財」を紹介するパネル展を開催予定 ・図録類の交換・情報交換等を行う [平成10年6月 友好交流館として協定締結]															
韓国江原道国立春川博物館	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の交流計画協議のため、4名を受入 ・図録類の交換等を予定 															
ロシアアルセーニエフ名称沿海地方国立博物館	<ul style="list-style-type: none"> ・DBSフェリーの就航を機に交流団を受け入れた ・職員4名の訪露により、今後の交流計画を協議 															
3 所要経費																
1,176千円 (派遣旅費、事務費等)																

平成22年度一般会計当初予算説明資料

3款 民生費

1項 社会福祉費

障害福祉課（内線：7866）→事業実施：障がい福祉課

12目 障がい者自立支援事業費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
障がい者文化・芸術振興事業	2,815	2,815	0				2,815	
トータルコスト	4,429千円（前年度 4,472千円） [正職員：0.2人]							
主な業務内容	補助対象事業者選定業務、補助金交付事務、作品展等開催業務							
工程表の政策目標（指標）	—							

説明

1 事業の目的

障がい者の文化・芸術の普及啓発及び活性化を図る取組みにより、障がいのある方が、自ら「絵を描いてみたい」、「楽器を演奏したい」など、文化・芸術活動をやってみたいという意欲を高めるとともに、芽生えた意欲を受け止める活動の立ち上げを支援することにより、障がい者の文化・芸術活動の振興と社会参加を図り、もってノーマライゼーションの実現を促進する。

2 事業の内容

(1) 障がい者文化・芸術活動支援事業

県内の障がい等で構成する団体が継続的に実施する文化・芸術活動のうち、活動が優れたものについて、その活動の初期に係る経費の一部を支援する。

区分	内容
補助団体	公募により選定された団体
対象経費	活動経費
補助基準	200千円 ※補助は団体立ち上げ後、最長2年間
補助率	定額（単県）
予算額	1,015千円（200千円×5団体、審査委員会開催経費15千円）

(2) 障がい者文化・芸術作品展等開催事業

障がい者の文化・芸術に係る講演会、シンポジウム、作品展等を開催する。

【拡充】知事賞等の設置（知事賞1、金賞3、銀賞3、銅賞3）

区分	内容
実施方法	委託
実施主体	県（障害者文化・芸術作品等開催事業実行委員会へ委託）
事業内容	講演会、シンポジウム及び作品展等の開催
対象経費	講演会、シンポジウム及び作品展等の開催に係る経費
予算額	1,800千円

3 これまでの取組状況、改善点

(1) 障がい者文化・芸術活動支援事業

活動経費助成が一部の団体に偏らない効果的な支援となるよう、「立ち上げに係る経費」と「新たな分野を優先」することに視点を置いた補助制度に変更。

(2) 障がい者文化・芸術作品展等開催事業

平成20年度から障がいの種別に関わりなく障がい者の文化・芸術作品を公募により応募・展示等する初めての試みとして実施。

平成21年度は文化・芸術活動を行っている障がい者の励みとなるよう、芸術性に優れた作品を選考・表彰し、質の向上につながる第一歩として最優秀賞等各賞を設けた。

また、更なる活動の促進・質の向上につなげるため、平成22年度から知事賞を設けることとした。

平成22年度一般会計当初予算説明資料

3款 民生費

1項 社会福祉費

長寿社会課(内線:7177)

4目 老人福祉費

(単位:千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
明るい長寿社会づくり推進事業	27,629	32,178	△4,549				27,629	
トータルコスト	29,243千円(前年度34,664千円)[正職員0.2人]							
主な業務内容	委託契約、委託料支払い、補助金支払い、選考会、表彰式開催							
工程表の政策目標(指標)	要介護認定率の減(要介護認定率:16.0%)							

事業内容の説明

1 事業の目的、概要

高齢者の生きがいと健康づくりを推進するため、関係団体等の参加と協力の下に、高齢者のスポーツ活動、芸術活動を行う。

2 主な事業内容

(1) 鳥取県社会福祉協議会委託事業【19,690千円】 (単位:千円)

区分	内容	予算額
ねんりんピック(全国健康福祉祭)派遣選手選考会(因伯シルバー大会)の開催	ねんりんピックの選考会を兼ねたスポーツ大会を開催する。	2,690
ねんりんピック(全国健康福祉祭)選手派遣	平成22年10月9日～12日 石川県で開催される「ねんりんピック石川2010」への派遣(21種目及び美術展 あわせて140人派遣予定)	6,731
情報通信誌への掲載(ホットアイ)	(社福)鳥取県社会福祉協議会が発行する情報誌「ホットアイ」に元気な高齢者の活動事例の紹介等を行う。A4判4ページ分、7,000部×4回/年	787
人件費		7,733
事務費		1,749
合計		19,690

(2) 高齢者健康運動会(鳥取県社会福祉協議会補助事業)【6,119千円】

高齢者の健康づくりや仲間づくりを支援するため高齢者健康運動会を開催する(社福)鳥取県社会福祉協議会へ助成する。

- ・開催地:東部・中部・西部
- ・開催時期:10月
- ・参加者:概ね60歳以上の高齢者(各会場約1,000人)
- ・補助率:10/10

(3) シニア作品展(仮称)の開催(公募により委託)【1,678千円】

高齢者の活動の成果を発表する場として県内高齢者の作品を一堂に集めた作品展を開催する。

- ・会場:倉吉博物館
- ・時期:10月9日～11日(予定)
- ・部門:日本画、洋画、書、写真、彫刻・工芸(5部門)
- ・出品者:県内在住の概ね65歳以上の者

3 これまでの取組状況、改善点

全県的に県内高齢者の仲間づくり、健康づくり活動共有の場を設け、趣味活動の成果を発表できる作品展を開催することで、高齢者のスポーツ、趣味活動の促進及び普及啓発ができています。

より多くの高齢者に全国大会出場の機会を与えるため、二年連続での派遣補助及び鳥取県選手団としての派遣を制限しているところだが、選手層が薄く、制限にかかる選手がいるために種目自体の出場ができない競技がある実態を踏まえ、派遣の制限に例外を加える予定である。